



め た せ こ い あ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856) 78-0029 FAX (0856) 78-0742

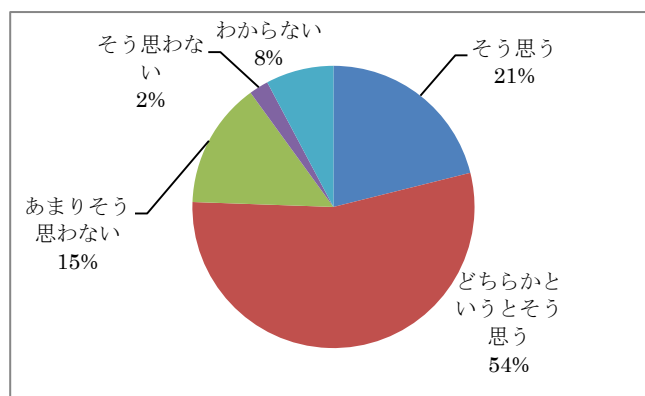
HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

アンケート「吉賀高校は魅力があると思いますか」

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

今、町内のいろいろな方にアンケートをお願いしています。その質問に「吉賀高校は魅力があると思いますか」というものがあります。ひとあし先に回答した吉高生の集計結果は、グラフのようになりました。「そう思う」などと肯定的に答えた生徒は75%です。その理由は、

「仲が良いから」などの人間関係 14人
「人数が少ない」など 5人
「一人ひとりが活躍できる」など 5人
「先生と生徒の距離が近い」など 3人
「少人数の授業」などの学習面 11人
などです。少人数であることが魅力になりうることを表しているように思います。また、
「行事が盛ん」など 7人
「地域に対する活動が盛ん」など 5人
「人工芝グラウンド」など地域の支援 5人
「部活動が盛ん」など 2人



と書いた生徒もいました。東京研修や中高一貫教育など、地域と連携した活動も魅力につながっているようです。吉賀高校が生徒にとって「行きたい」学校であるためには、まず、吉高生自身が自分の学校に魅力を感じ、誇りに思うようになってはなりません。そう考えると、このアンケート結果は、魅力化に向かって前進できているのではないかと受け止めることができます。

一方、「そう思わない」などの否定的回答の理由は、「華やかさが無い」「楽しいけれど吉高じゃないと駄目な理由がない」「少人数」などです。また、次のような記述もありました。

「吉賀高校生にとっては魅力があるが、外の人から見てあまり魅力がないように見える」

「魅力はあるが、逆の目線で考えると魅力でない部分だと思う」

現状をよく捉えた意見だと、感心しました。

さて、吉賀高校は昨年、町外・県外からも積極的に生徒を募集するようになりました。2年目の今年、予想以上に多くの問い合わせがあります。そのほとんどが、オープンスクールに参加し、実際に吉賀高校を訪れた人からのものです。吉賀町の自然と環境の中で、吉賀町の人や吉高生と言葉を交わし、そして、吉賀高校での生活に魅力を感じた子どもたちです。その子どもたちが、入学後も「来て良かった」「吉賀高校には魅力がある」と思うようであればなりません。みんなが仲良く、安心できる学校生活の中で、異なった個性が互いに刺激を受けながら、子どもたちがいっそう成長できる学校、そのような学校をめざさなければならない。あらためてそういう思いを強くしました。

（このアンケートの集計結果については、全部の回答が揃ってからご報告します。）

1 年 生 保 育 実 習

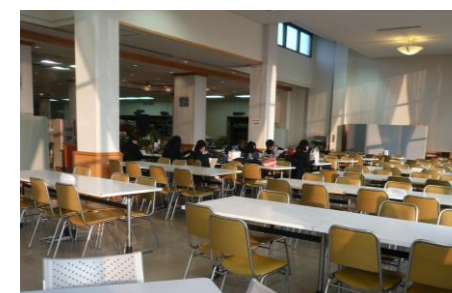
1月12日（火）に1年生の授業「家庭基礎」の一環として、保育実習を七光保育所で行いました。お互いの自己紹介から始まり、すぐに園児との交流に入りました。園児のパワーに押され気味だった生徒もいますが、徐々に打ち解けあって、絵本の読み聞かせやお絵かき、粘土遊び、鬼ごっこなどをして楽しく活動することができました。園児の大きな声によるあいさつも清々しく、普段はなかなか幼児と触れ合う機会が少ない生徒たちにとって、とても良い経験になりました。七光保育所の皆様、ありがとうございました。



セ ン タ ー 試 験 受 験

1月16日（土）と17日（日）に大学入試センター試験が実施されました。本校では受験者全員が15日の午後から下見に出かけて会場の様子を確認し、会場周辺に宿泊するなど万全の体制で臨んだため、トラブルもなく無事に受験を終えることができました。

現在は、センター試験の結果をもとに出願校を決定し、各々が個別試験に向けて教員による添削指導を熱心に受け、記述力を磨いています。受験が2月3月まで続く生徒もいますが、最後まで力を尽くすことができるように、吉賀高校の教職員一同で精一杯サポートしていきます。



会場の控え室で最終確認

町外・県外から吉賀高校へ入学する生徒への支援をお願いします！

ご協力いただける方はお知らせください。連絡先：吉賀高校 0856-78-0029（担当：教頭）

○下宿生の受け入れが可能な方

食事と安全管理のことを考えて、アパートではなく、下宿を希望する家族もいます。

○生活に必要な備品を寄付または貸与していただける方

学習机、椅子、電気スタンド、本箱、冷蔵庫、洗濯機、物干し竿、カーテン、石油ファンヒーター、掃除機、灯油ポリタンク、IHクッキングヒーター、炊飯器 など
※これらは、通常、学校の寮に備えられているものです。（共同使用のものも含む）

○生徒を見守っていただける方（里親）

吉賀高校魅力化・活性化事業推進協議会で、里親制度について検討しています。詳細がきまりましたらお知らせします。

2年生総合学習 「地域活性化プラン」発表会

1月12日（火）に2年生が「吉賀町活性化プラン」の発表会を行いました。これは、将来の吉賀町を支える人材になることを目指し、2年生27名が総合学習の一環として1年間を通して学習してきた成果を報告する会です。全8チームが、吉賀町が抱える問題や課題を考えて、それを解決する方法をプランとしてまとめ、堂々と発表しました。プランの作成にあたり、ご多忙にもかかわらず生徒の取材や指導にご協力いただいた地域の皆さまに厚く御礼申し上げます。

以下は、発表した全8チームのチーム名及びプラン名です。

チームM 「吉賀町の医療」 →問題解決型学習成果発表会（松江）に出場が決定

チーム中田 「吉賀町のエデュケーション」 →キャリア教育成果発表会（吉賀）に出場が決定

チームわたがし「切手で活性化」 →キャリア教育成果発表会（吉賀）に出場が決定

チームhuman「吉賀町の人」 チームシロジロ「吉賀町の商業」

チームダブルS「吉賀町の環境と食」 チーム太一「島根でフルマラソンを開催」

チームローリングサンダアァァ！！「吉賀町の食」



3年生 薬物乱用防止講座

1月14日（木）に3年生を対象に「薬物乱用防止講座」がありました。益田保健所と益田警察署の方に講師をお願いし、①薬物の種類②薬が切れるとどのような症状が出るのか③依存症と耐性④全国の検挙件数や島根県内での事例など、大変詳しく説明をしていただきました。

その中でも特に次のことを強調しておっしゃっていました。

○「合法ハーブ」等として称して店頭やホームページで販売していることがあるが、大変危険なものです。絶対に関わらないにしてください。

○インターネットの普及により、「都会だから・・・」「地方だから・・・。」というものではなく、身近な問題としてとらえてください。薬物を使用するともちろんですが、所持も犯罪になります。子供も処罰を受けることを知ってください。

以下は、生徒の感想の一部です。

・「薬局などに売ってある薬でもきちんとした使用方法でないと死にいたることも知り、薬は安全なように見えてとても危険なんだと思いました。大麻や麻薬を使っている人に勧められてもきちんと断れるようになりたいし、その人にもやめるようにいえる人にもなりたいです。」

・「インターネットをよく使うので、そういう危険なサイトには入らないようにしたいです。あと、旅行中などにドラッグを売られそうになっても、買わないで“いらない”と言うようにしたいです。薬もちゃんと分量で飲んでおこうと思います。今日は色々な事を学べてこれから大人になっていく中で、活かしていきたいと思いました。」



部活動結果報告

女子バレーボール部

【予選グループ戦】

吉賀0－2松江南（9-25, 12-25）

吉賀2－0隠岐（26-24, 25-23）

女子バレーボール部は1月15日（金）に浜田市で行われた新人戦に出場してきました。

初戦は松江南高校と対戦して敗れました。次は隠岐高校と対戦して勝利した結果、1勝1敗で予選リーグ敗退でした。

昨年4月にチームの復活から始まった1年間でしたが、県内外での実戦経験を積むたびにチームは確実に力をつけてきています。4月からは新入部員を加えて、上位進出を目指して頑張っていきたいと思います。ご声援ありがとうございました。



男子バレーボール部

【予選グループ戦】

江津・吉賀1－2隠岐島前（17-25, 25-23, 24-26）

江津・吉賀0－2松江高専（13-25, 12-25）

男子バレーボール部は今年度初の公式試合として江津高校と合同チームで新人戦に出場しました。昨年4月から少人数で練習してきた生徒たちにとって、合同チームとは言え、自分たちの力を発揮する機会があることが刺激となり、意欲的に練習を重ねて大会に臨むことができました。

1月15日（金）に江津高校体育館で行われた予選リーグでは、初戦に隠岐島前と対戦して、3セットのデュースまでもつれ込む激戦の末、一步及ばず惜敗となりました。松江高専との試合は力負けをして、結果2敗で予選敗退でした。内容的には白熱したラリーも展開できて良い試合ができたと思います。合同練習を通じて生徒たちは、技術的にも精神的にも一回り向上することができました。

4月からは新入部員を加えて、単独チームによる大会出場と初勝利を目指して頑張りたいと思います。ご声援ありがとうございました。



中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

中高一貫教育コーディネーター 春日亮二（吉賀中学校）

吉賀高校特別選抜でも友情の輪が広がりました！

暖冬の予感が一変して大雪となった1月19日（火）、吉賀高校の特別選抜が行われました。受験生たちは雪の心配と受験の不安の両方を抱えながら面接と作文に臨みました。面接は少し緊張していたようですが、終わった生徒の多くが「力を出し切った」という表情をしていました。それぞれの中学校の指導の成果ではないかと思ひます。

また、昼食時や休憩時には他校の生徒同士が仲良く話す姿が見られました。4月には仲のよいまとまったクラスになれそうな感じがしてとてもうれしくなりました。これこそ中高一貫教育で様々な交流してきた成果ではないかと思ひます。受験生の皆さん、吉賀高校で大いに羽ばたこう！